

西脇市まち・ひと・しごと創生総合戦略（骨子素案）

基本体系

1. 未来ひらく『ひとづくり』の循環サイクルを構築します
2. 活きみなぎる『しごとづくり』に取り組みます
3. 魅力あふれる『まちの元気づくり』に取り組みます

基本的方向

1. 未来ひらく『ひとづくり』の循環サイクルを構築します

(1) 結婚に向けた支援

① 出会いの機会を創出します

結婚を希望する独身男女に対して、結婚活動の支援や出会いの機会づくりを行います。

② 結婚を支援します

結婚を希望している者に対して、新生活のスタートをサポートします。

(2) 妊娠・出産の支援

① 次代の親を育成します

いずれ、母親・父親となる子どもたちが、結婚や子育てについて身近に感じることができるよう、体験学習や正しい知識を身に着ける機会等を充実します。

② 妊娠・出産費用を軽減します

特定不妊治療や妊婦健康診査等の費用を助成し、妊娠の希望をかなえるとともに、安心して出産に臨めるよう支援します。

(3) 子育て世代への支援

① 子育ての経済的負担を軽減します

こども医療費や任意予防接種の費用を助成し、子育ての経済的な不安を軽減します。

② 子育てに寄り添う支援体制を整えます

子育てコンシェルジュなどを通じて子育て世代に寄り添うことで、子育て世代が抱える孤独感や不安感を軽減するとともに、相談体制を整え、サポートします。

③ **地域で子育てを支えます**

児童福祉施設などの社会基盤、地域での見守りなど、ハード・ソフトの両面から、安全・安心な子育てをサポートする環境を生み出します。

④ **働き方改革を推進します**

希望するライフスタイルの実現に向け、仕事と生活が調和するワーク・ライフ・バランスを推進します。また、働く意欲のある人の就労を支援します。

(4) **Uターンの促進**

① **郷土愛を醸成します**

西脇市で生まれ育った若者の郷土愛を育み、流出を抑制するとともに、流出後においても郷里とのつながりを築き、将来的な回帰を促進します。

② **若者の活躍を応援します（高校生の支援）**

大学進学時に都市部へ流出した層の回帰が少ない現状を踏まえ、将来を考え始める高校時代に地域の中で活動することで、将来的な回帰を促進します。

③ **教育環境を充実します**

将来を担う次世代を育成するとともに、定住先決定の選択に影響を与える教育環境の魅力を向上させます。

(5) **新たな人材の獲得（Iターン・Jターン）**

① **産業人材のI・Jターンを推進します**

地場産業である播州織や播州釣針、高齢化等を背景としたニーズが高い成長産業など、多様な産業人材の移住を進めます。

② **I・Jターンを推進します**

一定の都市機能と自然環境が共存する地域特性を生かし、田舎暮らしの希望者や農業関係者、若者など、多様な人材の交流人口及び定住人口を増やします。

③ **若者の活躍を応援します（大学との連携）**

大学と連携した研究活動の推進や学生による地域活動の支援などを通じて、大学の知見や若者の活力を生かした取組を進めます。

(6) **情報発信の強化**

① **シティプロモーションを推進します**

情報発信を通じた都市イメージの向上により、シビックプライドを醸成するとともに、選ばれるまちを目指していきます。

2. 活力みなぎる『しごとづくり』に取り組みます

(1) 商工業の振興

① 西脇ファッション都市構想を推進します

独自の技術やノウハウを生かした高付加価値化やブランド化を進めるとともに、産地を担う人材を確保・育成します。

② 起業・創業を支援します

市内に活力を生み出す産業を創出するため、意欲ある事業者の起業、創業を支援します。

③ 企業誘致を推進します

西脇市の地域特性を生かした企業立地を促進します。

④ 既存企業を支援します

地域に根ざす既存企業の競争力を強化するため、設備投資の支援やふるさと納税を通じた特産品のPRを実施します。

(2) 農業の振興

① 担い手の育成・確保を図ります

認定農業者や新規就農者など、担い手の確保・育成を図るとともに、地域で取り組む集落営農の法人化などを支援します。

② 地産地消・地産外消を推進します

生産者と食品製造業者などが連携する農商工連携や、生産者や加工グループなどによる6次産業化などを支援し、農畜産物のブランド力を高めるとともに、域内での消費も促します。

(3) 観光交流

① 資源の創出と情報発信を推進します

観光資源の創出や観光交流体制の充実、情報発信の強化を通じ、観光交流人口の増加を目指します。

② 地域資源を生かした「おもてなし」を推進します

多様な主体が連携・協働する体制の構築を進めるとともに、誘致した酒蔵など、魅力ある農畜産物を通じたおもてなしを推進します。

③ 観光交流の新たな展開を推進します

地域や地域の人々と多様に関わる関係人口の増加や大阪圏を中心としたインバウンド需要への対応を進めます。

(4) 社会のニーズに対応する産業の育成

人口減少や高齢化の進行、地域経済の縮小などを踏まえ、社会のニーズに対応する産業を育成するための横断的取組を支援します。

【KEYWORD】

地域内経済循環	/	小さなビジネス	/	ソーシャルビジネス
コミュニティビジネス	/	事業承継	/	生産性向上
医療・福祉産業	/	新たな手法の導入（ICT・クラウドファンディング）		

3. 魅力あふれる『まちの元気づくり』に取り組みます

(1) ひとの元気づくり

① 健康寿命の延伸を目指します

市民が主体的に健康を維持・増進するための取組を促進し、健康寿命の延伸を目指します。

② 生涯学習（文化・スポーツ）の振興に取り組みます

生涯スポーツを通じた健康増進などを推進するとともに、優れた文化・芸術に触れる機会を創出するなど、生涯にわたる様々な学習活動を支援します。

(2) まちなかの元気づくり

① 市庁舎・市民交流施設を整備します

多機能を有した市庁舎・市民交流施設を中心市街地に整備し、コンパクトで利便性が高く、魅力あるまちづくりを進めます。

② まちなかににぎわいを創出します

商業施設など、都市機能の誘導・集積、まちなか活性化イベント等によって、まちなかににぎわいを創出します。

③ 道路の拡幅整備を推進します

幹線道路や生活道路の拡幅を推進し、人が行き交い交流するまちづくりを進めます。

④ **まちなか循環バスを導入します**

コミュニティバスの運行体系を見直し、市街地内を巡回するまちなか循環バスを運行します。

(3) **地域の元気づくり**

① **地域自治協議会の設立及び運営を支援します**

地域のまちづくり活動を担う主体が結集する地域自治協議会の設立及び運営を支援します。

② **持続可能なコミュニティづくりを支援します**

一定の生活サービスが確保された小さな拠点の形成を目指します。

③ **デマンド型交通を導入します**

公共交通空白地帯の解消と利便性の向上を目指すため、市内の各地域と市街地を結ぶデマンド型交通の導入を進めます。